

平成28年度  
岩手県中学校新入生学習状況調査  
結果報告

[文書のサブタイトル]

平成28年7月

岩手県教育委員会



# 平成28年度岩手県中学校新入生学習状況調査結果報告

## 目次

I	調査結果の概要	・・・・・・・・	2
	1	調査についての基本的な考え方	
	2	調査のねらい・内容等	
	3	教科調査結果の概要	
	4	生徒質問紙調査結果の概要	
II	各教科の調査結果の概要とその分析		
	○	国語 <授業改善の手引>	・・・・・・・・ 4
	○	数学 <授業改善の手引>	・・・・・・・・ 9
III	生徒質問紙調査の結果	・・・・・・・・	13

# I 調査結果の概要

## 1 調査についての基本的な考え方

学習状況調査は、生徒の実態や指導の状況を検証し分析するツールの一つであり、県教育委員会はもとより、各市町村教育委員会、各小・中・義務教育学校においても調査結果を分析し、定着の状況や指導の状況を検証し、指導の充実や授業の改善に向けて活用していくためのものである。

## 2 調査のねらい・内容等

- 各中学校・義務教育学校後期課程において新入生一人一人の学習の定着状況を把握し、その結果を基に指導の充実を図ること。また、各小学校・義務教育学校前期課程では、出身小学校別の分析資料等から小学校・義務教育学校前期課程での学び全般の実態をとらえ、今後の指導に生かすこと。さらに、各地域の小中連携会議等における指導改善に向けた協議等で活用する資料とし、小中の系統性を意識した指導の充実を図り、児童生徒の学力保障に資すること。
- 全県的な規模で小学校・義務教育学校前期課程修了段階における学習の定着状況を把握するとともに、明らかになった学習指導上の課題を教育施策に反映させることにより、本県児童生徒の学力向上に資すること。

【調査実施日】 平成 28 年 4 月 19 日 (火)

【調査対象】 中学校及び義務教育学校後期課程第 1 学年 国語・数学・生徒質問紙調査

【調査人数】 国語 (10,441 人) 数学 (10,444 人) 生徒質問紙調査 (10,451 人)

## 3 教科調査結果の概要

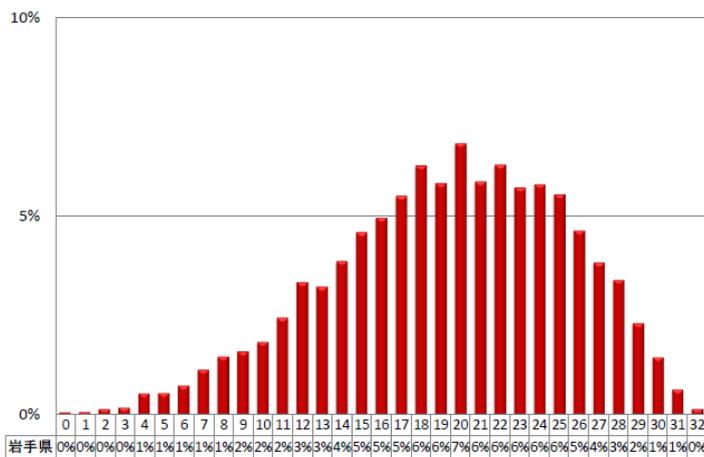
### (1) 各教科の平均正答率及び中央値

国語	平均正答率	61%	中央値	62.5
数学	平均正答率	72%	中央値	75.8

注 1) 中央値：代表値の一つで、有限個のデータを小さい順に並べたとき中央に位置する値。本調査の場合、全対象者を正答率順に並べて、ちょうど真ん中に位置する値を指す。

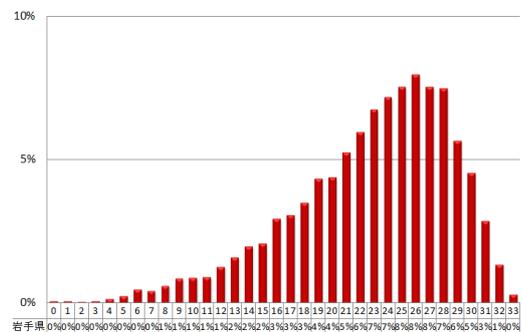
### (2) 各教科の正答数分布状況

#### ◆国語 (H28 中 1)

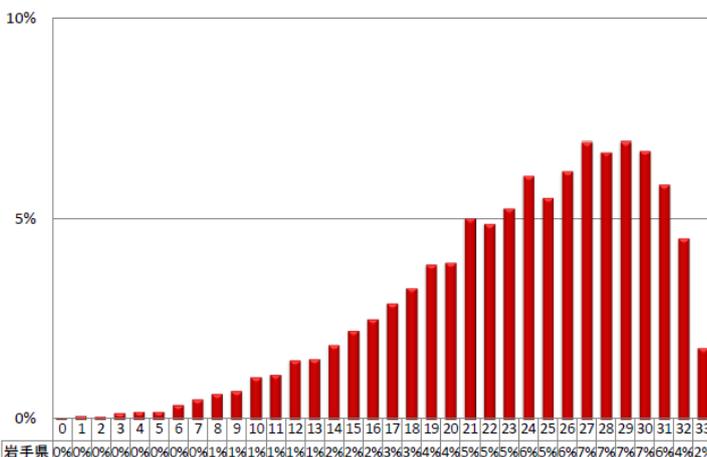


(参考 H27 中 1 国語)

平均正答率 69% 中央値 72.7

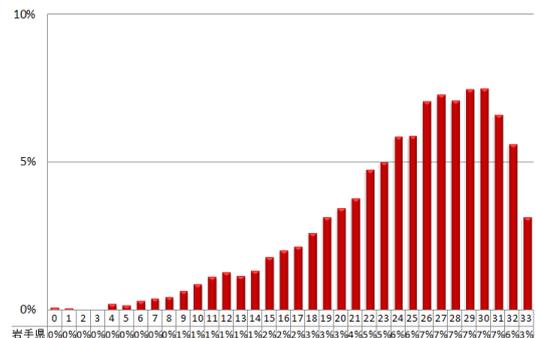


#### ◆数学 (H28 中 1)



(参考 H27 中 1 数学)

平均正答率 74% 中央値 78.8



(3) 分布状況から見える主な特徴等

教科調査結果の特徴として、以下の3点をとらえた。

- ア 2教科とも分布の左側の層が少なく、きめ細かい指導の成果が表れている。
- イ それぞれの教科で、課題が改善されていない状況が見られる。次の問題等については改善傾向も若干見られるが、課題が継続している状況である。

教科	調査問題のねらい	H28 正答率(%) [H27 正答率]	同一集団の過去の 正答率(%) [調査名]
国語	場面の描写と登場人物の様子を読む	50[52]	44 [H26 小5 県学調]
	文章の構成に注意して意見を書く	43[26]	52 [H26 小5 県学調]
算数・ 数学	比較量と割合をもとに基準量を求める	35[—]	9 [H27 小6 全国学調]
	単位量当たりの大きさの求め方を理解している	57[66]	63 [H27 小6 全国学調]

また、昨年度と比較すると、国語では「書くこと」領域、「読むこと」領域、数学では「図形」領域における正答率が9～15ポイント下降している。当該学年の課題はその年度中に解決を図るよう取り組むとともに、その後の学年と中学校においても課題意識を継続しながら、学習の系統性に留意し、新たな学習内容の中に学び直しの機会を位置付けて指導するなど、繰り返し指導を行うことが大切である。

- ウ 無解答率が2割程度の調査問題が国語で3問、1割程度の調査問題が国語で5問、数学で1問であった。児童生徒に対して、問題文の内容をしっかりとらえて解答できるよう読解力を高めていくことや、あきらめずに自分の考えを解答（記述）するよう意識を高めていく学校の組織的な日常の取組（全ての教科等の授業場面で、全教員が共通実践する等）が大切である。

なお、各教科の分析については、各教科の指導資料に記載する。

4 生徒質問紙調査結果の概要

県教委が昨年12月に発行した「いわての授業づくり3つの視点」リーフレットでは、児童生徒の学力を保障するための授業はどうあるべきかという視点で考えた「授業の構成」について示した。さらに、本年度の学校教育指導指針にも再掲し、全ての小・中・義務教育学校による共通の取組について周知を図ってきた。本調査生徒質問紙調査結果におけるそれらの項目の中から、「見通しの機会の設定（質問事項29）」と「振り返りの機会の設定（質問事項30）」について見てみると、肯定的な回答（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合算）がどちらも80%を超え、「見通し」と「振り返り」の場を授業に位置付ける授業改善に着実に取り組んできていることが分かる。さらに、昨年度と積極的肯定（そう思う）の割合を比較すると3～5ポイント上昇しており、「見通し」と「振り返り」の場を授業に位置付ける取組の徹底が図られてきたことが分かる。

また、昨年度と比較して、「自分にはよいところがあると思いますか。（質問事項20）」に対する積極的肯定が3ポイント、「人が困っているときは、進んで助けようと思いますか。（質問事項21）」に対する積極的肯定が7ポイントそれぞれ上昇しており、児童生徒の自己肯定感や道徳的心情の高まりが見られた。

質問事項 29: 見通しの機会の設定

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
小学5年	H26	53	34	9	3
		87		12	
中学1年	H27	52	35	9	4
		87		13	
	H28	57	32	8	3
		89		11	

質問事項 30: 振り返りの機会の設定

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
小学5年	H26	48	38	10	3
		86		13	
中学1年	H27	43	41	12	4
		84		16	
	H28	46	38	12	4
		84		16	

## II 各教科の調査結果の概要とその分析

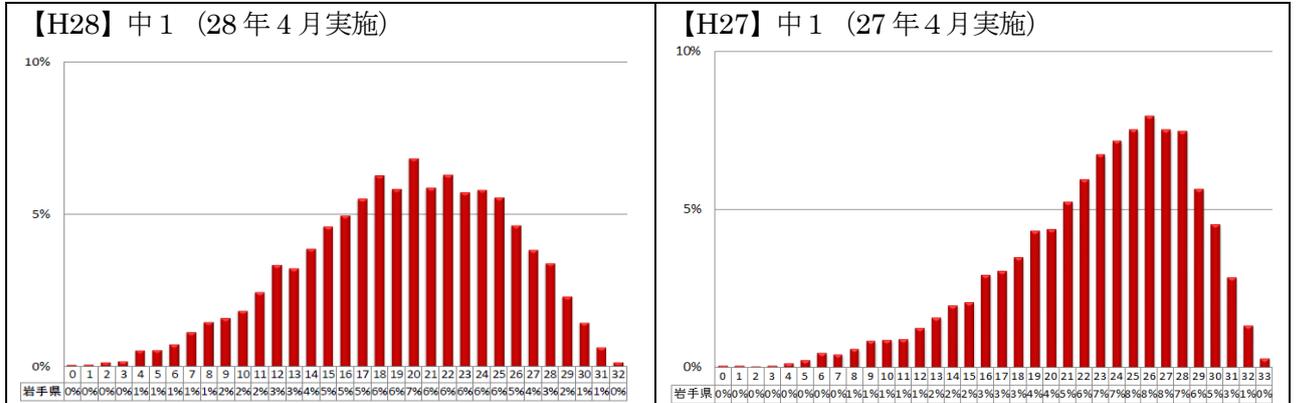
平成 28 年度岩手県中学校新入生学習状況調査 指導資料

平成 28 年 7 月 発行 岩手県教育委員会

# 授業改善の手引 中学校第 1 学年国語

## 1 調査結果

### (1) 分布状況



- 問題数は、昨年度より 1 問少なく、正答数の最頻値は 20 問、平均正答数は 19 問です。昨年度と比較すると、分布の山が左に移動しています。正答数 16 問以下の児童数が 31 パーセントと、昨年度より 16 ポイント多くなっています。

(正答数の最頻値：該当する生徒数の最も多い正答数)

### (2) 領域等の正答率

領 域 等	正答率		
	( ) は H27 新入生学調、〈 〉 は H26 県学調		
話すこと・聞くこと ( 6 問)	74%	(69%)	〈59%〉
書くこと ( 3 問)	47%	(56%)	〈38%〉
読むこと (10 問)	51%	(66%)	〈46%〉
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ( 3 問)	65%	(75%)	〈67%〉
活用 ( 2 問)	43%	(50%)	〈30%〉

### (3) 結果概要

- 領域ごとの正答率において、「話すこと・聞くこと」が 74%と昨年度を 5 ポイント上回りました。特に、小問ごとの正答率において、「話し手の意図を考えながら、話の内容を聞く」問題が 83% (+30 ポイント)、「話し合いにおける司会の役割がわかる」問題が 82% (+47 ポイント) で、よい状況にあります。
- これまでも課題であった「読むこと」領域の「必要に応じて、文章の内容を要約する」問題において、正答率が 59%と昨年度を 21 ポイント上回り、改善傾向にあります。
- 領域ごとの正答率において、「書くこと」が 47% (−9 ポイント)、「読むこと」が 51% (−15 ポイント)、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が 65%と (−10 ポイント) と、昨年度を下回る結果となりました。特に、文学的文章の正答率の低さが目立ちました。
- 「書くこと」領域の正答率において、活用問題 (2 問) が 43%と昨年度を 7 ポイント下回りました。また、無解答率が 20%以上と昨年度の 2 倍を上回ったことから、表現様式や条件に応じた文章を書くことについて、引き続き指導の工夫が必要な状況にあります。

(4) 小問別正答率

問題番号				調査問題のねらい	学習指導要領との関連	主な観点	備考	正答率	選 択 No. (%)						
大問	中問	小問	進し番号						1	2	3	4	5	6	0
									選択	選択	選択	選択	誤答	正答	無解答
1	(1)	1	1	話し手の意図を考えながら、話の内容を聞くことができる。	5・6年「話・聞」(1)エ	話・聞		70					29	70	1
	(2)	2	2	話し手の意図を考えながら、話の内容を聞くことができる。	5・6年「話・聞」(1)エ	話・聞		83	4	83	11	2	0		0
	(3)	3	3	話し合いにおける司会の役割が分かっている。	5・6年「話・聞」(1)オ	話・聞		82	6	10	3	82	0		0
2	(1)	4	4	目的や状況に応じて質問をすることができる。	5・6年「話・聞」(1)エ	話・聞		66	8	21	4	66	0		0
	(2)	5	5	目的や状況に応じた質問の意図を理解している。	5・6年「話・聞」(1)エ	話・聞		72	13	3	72	11	0		0
	(3)	6	6	目的や意図に応じて話すことができる。	5・6年「話・聞」(1)イ	話・聞		68	15	68	11	6	0		0
3	(1)	①	7	第6学年配当漢字「至急」を正しく読むことができる。	5・6年「伝国」(1)ウ(ア)	伝国		93					5	93	2
		②	8	第5学年配当漢字「退ける」を正しく読むことができる。	5・6年「伝国」(1)ウ(ア)	伝国		54					38	54	7
	(2)	①	9	第6学年配当漢字「推測」を正しく書くことができる。	5・6年「伝国」(1)ウ(ア)	伝国		44					40	44	16
		②	10	第6学年配当漢字「刻む」を正しく書くことができる。	5・6年「伝国」(1)ウ(ア)	伝国		79					11	79	9
	(3)		11	日常使われる敬語を正しく使うことができる。	5・6年「伝国」(1)イ(ク)	伝国		65					32	65	3
	(4)		12	ローマ字で表記されたものを読むことができる。	3・4年「伝国」(1)ウ(ア)	伝国		72	72	3	7	15	2		1
	(5)	ア	13	理解するために必要な語句について、辞書を利用して調べることができる。(漢字辞典、部首・画数)	3・4年「伝国」(1)イ(カ)	伝国		77					15	77	8
		イ	14	理解するために必要な語句について、辞書を利用して調べることができる。(漢字辞典、部首・画数)	3・4年「伝国」(1)イ(カ)	伝国		73					23	73	4
	(6)		15	和語・漢語・外来語の区別について理解している。	5・6年「伝国」(1)イ(エ)	伝国		79					16	79	5
	(7)		16	熟語の構成を意味との関わりから理解している。	3・4年「伝国」(1)イ(オ)	伝国		52	9	22	16	52	1		1
(8)		17	文の構成について理解している。(修飾語)	5・6年「伝国」(1)イ(キ)	伝国		49	8	39	49	2	0		0	
(9)		18	故事成語の意味や使い方を理解している。	3・4年「伝国」(1)ア(イ)	伝国		70	70	8	10	12	0		1	
(10)		19	文脈に沿って、漢字を適切に使うことができる。	5・6年「伝国」(1)ウ(ア)	伝国		39					39	39	22	
4	(1)		20	場面の移り変わりを読むことができる。	3・4年「読」(1)ウ	読		28	30	32	28	8	1		1
	(2)		21	登場人物の気持ちを読むことができる。	5・6年「読」(1)エ	読		37					43	37	19
	(3)		22	登場人物の気持ちを読むことができる。	5・6年「読」(1)エ	読		47	47	12	18	21	0		1
	(4)		23	場面の描写と登場人物の様子を読むことができる。	5・6年「読」(1)エ	読		50					39	50	11
	(5)		24	登場人物の気持ちの変化を読むことができる。	3・4年「読」(1)エ	読		69	69	11	11	6	1		2
5	(1)		25	文章の内容を的確に押さえて読むことができる。	5・6年「読」(1)ウ	読		59					33	59	7
	(2)		26	文章の内容を的確に押さえて読むことができる。	5・6年「読」(1)ウ	読		72	8	72	14	1	2		2
	(3)		27	必要に応じて、文章の内容を要約することができる。	3・4年「読」(1)エ	読		59					32	59	9
	(4)		28	文章の要旨をとらえて読むことができる。	5・6年「読」(1)エ	読		48	13	27	48	9	0		3
	(5)		29	文章の構成をとらえて読むことができる。	5・6年「読」(1)ウ	読		43	13	9	29	43	0		5
6			30	段落構成を考えながら指定された長さの文章を書くことができる。	3・4年「書」(1)イ	書		55					25	55	20
			31	表やグラフから読み取ったことをまとめて書くことができる。	5・6年「書」(1)ウ	書		43					35	43	22
			32	文章の構成に注意して意見を書くことができる。	5・6年「書」(1)ウ	書		43					31	43	27
全体正答率								61							

## 2 指導のポイント

- (1) 説明的な文章の特徴を踏まえて内容を把握しながら、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりする学習を行いましょ。

### ア 問題の概要

5	(4) 文章の要旨をとらえて読む。 第5・6学年「読」ウ	正答率 48%
---	------------------------------	---------

### イ 誤答分析

誤答で最も多いのは、選択肢2の27%で、文章中の「美しい仕事道」と「綱渡りのような仕事道」とを結び付けて、共通する内容をとらえたものでした。また、その他の誤答からも、文章中の叙述と選択肢の一部分の言葉が共通するという点だけで安易に選択している傾向が見られました。

ここでは、文章の全体の内容や構成を的確に押さえながら、取り上げられている内容の中心や、書き手の考えの中心となる事柄を要旨としてとらえることが求められます。

文章に書かれている話題、理由や根拠となっている内容、構成や巧みな叙述に注意するなど、文章全体から内容を的確に押さえる力に課題があることが考えられます。

### ウ 指導上の留意点

(7) 小学校では、第5学年及び第6学年の指導事項ウにかかわって、目的に応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえる学習を行っています。このことは、中学校第1学年「読むこと」の指導事項イ「文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。」につながります。

(4) 指導に当たっては、論の展開の中心となる部分とそれを支える例示や引用などの付加的な部分とが組み合わされていたり、事実を述べた部分と意見を述べた部分とで構成されていたりするなどといった説明的な文章の特徴を踏まえて読むことによって、内容を把握することが大切です。

同時に、要約したり要旨をとらえたりする活動においては、大まかに内容をつかんだり、人に紹介したりするなどの目的や必要感を生徒にもたせることが重要です。目的や必要に応じて、情報を選択し整理するような言語活動を、単元の中に意図的に位置付けていきましょう。

- (2) 表現上の工夫を大切にしながら、自分の考えの根拠を明確にして書く学習を大切にしましょう。

### ア 問題の概要

6	条件② 表やグラフから読み取ったことをまとめて書く。 第5・6学年「読」エ	正答率 43%
	条件③ 文章の構成に注意して意見を書く。 第5・6学年「読」ウ	正答率 43%

### イ 誤答分析

誤答率は、条件②が35%、条件③は31%でした。誤答の多くは、条件②「読み取ったことを表現できないもの」、条件③「読み取ったことを踏まえていないもの」「自分の考えそのものが条件に合っていないもの」でした。

また、無解答率は、条件②が22%、条件③は27%と、昨年度の2倍を上回る結果となりました。この問題では、資料から読み取った情報や自分の考えについて適切な言葉を用いて記述する力や、資料から必要な情報を取り出し、比較したり関係付けたりしながら自分の考えを明確にすることが求められます。

資料から取り出した情報の書き表し方の理解や、図表やグラフを用いて自分の考えを書く経験が不足していることが考えられます。

## ウ 指導上の留意点

(7) 小学校では、第5学年及び第6学年の指導事項ウ・エにかかわって、事実と感想、意見などを区別して書く学習や図表やグラフなどを用いて自分の考えが伝わるように書く学習を行っています。このことは、中学校第1学年「書くこと」の指導事項ウ「伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。」につながります。

(4) 図表やグラフを用いて自分の考えを書く際の指導に当たって、常に自分の伝えたいことに立ち返らせることで、目的意識をもち続けることができるようにすることが大切です。例えば、用いた図表やグラフが自分の考えを明確に伝えるための根拠となっているかどうか、その内容が適切かどうかを検討する場を設定することも必要です。その上で、第1学年では書こうとする事柄のまとまりや順序を明確にし、段落の役割を踏まえた文章の構成を考える指導が効果的です。

また、表現上の工夫として、必要な数値（「〇%以上」等）や概略を示す言葉（「おおよそ」等）、比較を示す言葉（「上回る・下回る」等）を使用するなど、読み取った情報を相手に分かりやすく伝えるための言葉を選択させるような指導も大切にしましょう。

(3) 場面の展開や登場人物などの描写に視点を定めながら注意して読み、人物の心情を表現の仕方と結び付けながらとらえる学習活動を充実させましょう。

### ア 問題の概要

4 (2) 登場人物の気持ちを読む。

第5・6学年「読」ウ

正答率 37%

### イ 誤答分析

誤答率は43%、無解答率は19%でした。誤答を分析すると、「落ちこんじゃいなかった」兄の心情を、主人公（比呂）の心情からとらえたり、線部（引用文）近くの兄の会話文から15字に満たない言葉や文で解答したりする傾向が多く見られました。

この問題は、登場人物相互の関係に基づいた会話を通して、内面にある深い心情をとらえることが求められます。

文章全体の中で人物の相互関係から心情をとらえ、その根拠となる叙述に着目しながら読む力に課題があることが考えられます。

## ウ 指導上の留意点

(7) 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえることについては、既に小学校第5学年及び第6学年（指導事項エ）で学習しています。中学校第1学年では、その学習の上に立って、時間的・空間的な場面の展開、人物の心情や行動、情景描写などに注意して読み、内容の理解に役立てる学習につながります。

(4) 文学的な文章を解釈する際は、言葉を手がかりにしながら、視点を定めて読む必要があります。登場人物の見方や考え方が表れている場面の描写と、登場人物の会話や行動を重ね、より深く場面の様子をとらえて読む力を身に付けることができる言語活動の設定が大切です。

また、登場人物の言動の意味や情景描写による暗示的な表現を、登場人物それぞれの立場になって考えることも、作品を味わうための内容の理解に役立ちます。

指導に当たっては、主体的な言語活動を通して、生徒自身がこれらの力を習得し活用できるよう、次頁のような単元構想や学習活動を参考に、学習指導を工夫していきましょう。

【文学的な文章において主人公を変えてリライトする言語活動を位置付けた展開例】  
 教材例 佐野久子「走る少女」より（平成28年度岩手県中学校新入生学習状況調査 中学校第1学年国語 4）

「C 読むこと」の指導事項を言語活動例を通して指導する場合の評価規準例  
 「描写の効果や登場人物の言動の意味を考え、自分の解釈に生かしている。」

《単元構想例》

1次	<p><b>【第1時】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リライトの概略を知り、興味をもつ。</li> <li>・学習のねらい「物語の登場人物の相互関係を基に、主人公の心情を探る力を付けよう」を確かめ、兄の視点で読み直して主人公の心情を考えると学習の見直しをもつ。</li> </ul>
2次	<p><b>【第2時】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「走る少女」を読み、表現の特徴（会話の多用、語り手の位置付け、時系列の構成の工夫など）をとらえる。</li> <li>・会話や情景描写を手がかりに、兄と妹の相互関係をとらえ、主人公「比呂」の人物像や心情を理解する。</li> </ul> <p><b>【第3時】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>①兄の視点から出来事を書く。</li> <li>②兄が感じている妹の心情や兄の思いを書く。</li> <li>③原作の内容（ストーリー展開）は変えない。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会話や情景描写を手がかりにとらえた「兄」の人物像や心情が表れるようにリライトする。</li> </ul> <p><b>【第4時】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リライトした文章について読み合い、観点に沿って交流する。</li> <li>・交流を通して深まったり広がったりした読みをリライトに生かし、作品として仕上げる。</li> </ul>
3次	<p><b>【第5時】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リライトして深まったり広がったりした読みを基に主人公の心情や兄とのかかわりについてとらえ直し、自分の考えをまとめる。</li> <li>・単元を振り返り、学習で身に付いたことを確認し、登場人物の相互関係をとらえて読むおもしろさを今後の読書生活に活かす学習のまとめとする。</li> </ul>

《第4時展開例》

1	<p>学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「兄」の心情や「兄」から見た「妹」の心情を探るために、リライトの根拠を検討しよう。</p> </div>
2	<p>課題を解決する。</p> <p>(1) リライトの条件①②に係る記述を取り上げ、その根拠についての解説をまとめる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「兄」の人物像や心情 } 読みの根拠となる</li> <li>・「兄」から見た「妹」の心情 } 叙述と解釈</li> <li>・兄の視点による表現の仕方の工夫</li> </ul> </div> <p>(2) グループで解説を交流し、互いの読みの根拠について話し合う。【交流Ⅰ】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人物像のとらえはよいか。</li> <li>・心情のとらえや様子の想像は妥当か。</li> <li>・人物像や心情を表す表現は適切か。</li> </ul> </div> <p>(3) 各グループで話題になった点を全体で共有し話し合う。【交流Ⅱ】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ内での解釈の違い</li> <li>・グループ内で深まった心情のとらえ</li> <li>・共有したい表現</li> </ul> </div>
3	<p>学習のまとめをする。</p> <p>(1) 交流Ⅰ、Ⅱを通して考えた「兄」の言動の意味や、情景描写による暗示的な表現について確認する。</p> <p>(2) 交流Ⅰ、Ⅱを踏まえ、自分のリライト作品を仕上げる。</p>
4	<p>学習を振り返り、次時の課題を確認する。</p>

《第4時 交流場面》

**I. グループ交流**

自分のことで悩んでいる妹を、前向きな気持ちにさせようとしている兄の優しさが、うまく伝わる表現になっているかな？

でも「人生最大のピンチだった」と思っているみたいだし、やはり心の中では、妹のことを責めているのでは？

「最大のピンチ」は妹の心情が表れている叙述だったね。兄は「重荷だった」と言っているから…。

言葉や行動を関連させて考えるといいんだね。

「重荷」はどう解釈したらよいかなあ…。

**II. 全体交流**

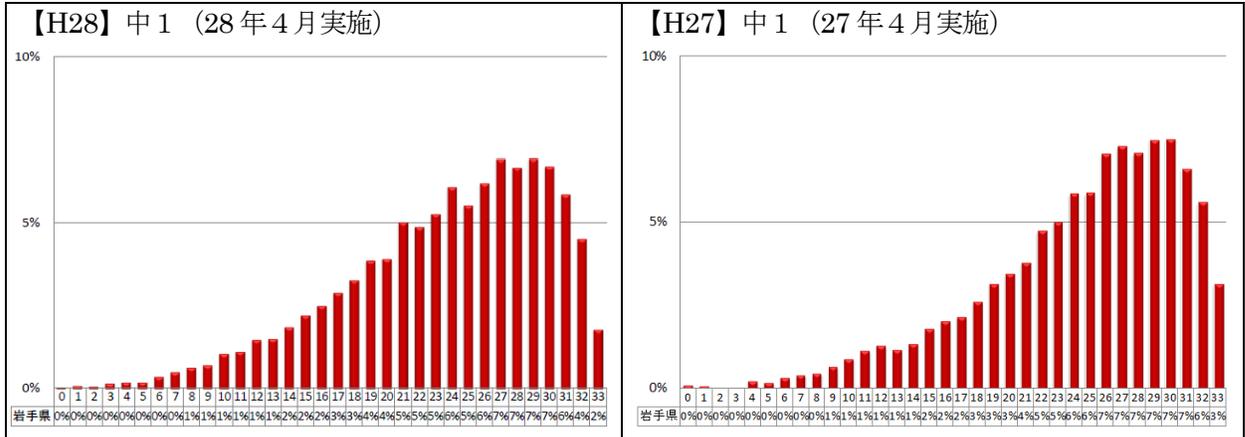
私たちのグループでは、「走ることがいつか重荷になりそうな予感が」という会話から、兄は「今も悩んでいる」と「気にしていない」と解釈が分かれたのですが、みなさんはどう思いますか？

兄の言葉をたどると、落ち込んでいないことがわかります。シューズを贈った行為にも、それが表れていますよね。

# 授業改善の手引 中学校第 1 学年数学

## 1 調査結果

### (1) 分布状況



- 新入生学習状況調査の問題は、昨年度同様、小学校の授業で経験してきたものが出題されています。結果は、正答数の最頻値は 29 問、平均正答数は 24 問で、平均正答数未満の生徒は 43% います。  
(正答数の最頻値：該当する生徒数の最も多い正答数)

### (2) 領域等の正答率

領域等	正答率 ( ) は H27 新入生学調 < > は H26 県学調	観点等	正答率 ( ) は H27 新入生学調 < > は H26 県学調
数と計算 小 (10 問)	78% (77%) <79%>	数と計算 小 (10 問)	78% (77%) <79%>
数と式 中 1 ( 0 問)	— — <61%>	数と式 中 1 ( 0 問)	— — <61%>
量と測定 ( 7 問)	62% (66%) <48%>	数と式 中 1 ( 0 問)	— — <61%>
図形 ( 4 問)	74% (84%) <79%>	量と測定 ( 7 問)	62% (66%) <48%>
数量関係 (12 問)	71% (70%) <63%>	図形 ( 4 問)	74% (84%) <79%>
		数量関係 (12 問)	71% (70%) <63%>
		数量や図形についての技能 (18 問)	74% (75%) <65%>
		数量、図形などについての知識・理解 (7 問)	78% (89%) <63%>
		活用 (4 問)	53% (61%) <51%>

### (3) 結果概要

- 領域ごとの正答率を比較すると、「数と計算」の定着が図られているといえます。特に、分数の除法の計算については、88%と高い正答率になっています。
- 「数量関係」では、比例の関係のグラフを読み取ること、柱状グラフに表すことが特にできています。
- 式を読み、図と関連させながら考察することに課題が見られます。
- 比較量と割合から基準量を求めることに課題が見られます。
- 「数学的な考え方」で、根拠をもって自分の考えを説明することに課題が見られます。

### (4) 経年比較問題等との状況

問題番号	正答率	比較問題	比較	内容 (調査問題のねらい)
7	40%	H27 5	4	面積を求める式が表す図形を読み取ることができる。
8 (2)	61%	H27 7	1	複合図形の体積 (面積) の求め方を考え説明することができる。
13 (1)	56%	H27 14	- 1	基準量と割合を基に比較量を求めることができる。

(5) 小問別正答率

問題番号				調査問題のねらい	学習指導要領との関連	主な観点	備考	正答率	選択 No. (%)						
大問	中問	小問	通し番号						1	2	3	4	5	6	0
									選択	選択	選択	選択	誤答	正答	無解答
1	(1)	1	整数の四則混合計算ができる。	4年数と計算(4)	技			79					21	79	0
	(2)	2	小数の加法の計算ができる。	4年数と計算(5)イ	技			83					16	83	0
	(3)	3	帯分数の減法の計算ができる。	5年数と計算(4)オ	技			76					22	76	2
	(4)	4	分数の除法の計算ができる。	6年数と計算(1)イ	技			89					10	89	1
	(5)	5	整数、分数、小数の混合計算ができる。	6年数と計算(1)イ	技			84					14	84	3
2		6	最大公約数を求めることができる。	5年数と計算(1)イ	技	経年		81	2	7	81	5	5		0
3		7	あまりのある小数の除法のしかたを理解している。	5年数と計算(3)イ	知			72	5	7	14	72	2		0
4	(1)	8	最小公倍数を求めることができる。	5年数と計算(1)イ	技	経年		65	21	65	6	6	2		0
	(2)	9	最小公倍数について理解している。	5年数と計算(1)イ	知			67	14	67	9	9	1		1
5		10	2つの数量の関係の表し方を理解している。	5年数と計算(3)ア(4)ア	知			83	4	8	83	4	0		0
6	(1)	11	ひし形の面積を求めることができる。	5年量と測定(1)ア	技	経年		70					26	70	4
	(2)	12	たこ形の面積を求めることができる。	5年量と測定(1)ア	技			68	68	6	18	4	2		2
7		13	面積を求める式が表す図形を読み取ることができる。	6年量と測定(2)ア	考	経年		40	40	24	28	6	1		1
8	(1)	14	体積を求める式を読み取り、立体図形に補助線を引くことができる。	5年量と測定(2)イ	考			62					29	62	9
	(2)	15	複合図形の体積の求め方を考え説明することができる。	5年量と測定(2)イ	考	経年・活用		61					35	61	4
9	ア	16	単位量当たりの大きさの考えを用いて、収穫量を説明することができる。	5年量と測定(4)ア	考			74	74	7	8	9	1		1
	イ	17	単位量当たりの大きさの考えを用いて、収穫量を説明することができる。	5年量と測定(4)ア	考			56	14	3	23	56	2		1
10		18	図から考えを読み取り、四角形の内角の和を求める式を立てることができる。	5年図形(1)ウ	考	経年・活用		60					33	60	7
11		19	合同な四角形を選ぶことができる。	5年図形(1)イ	技	経年		76	4	76	2	15	2		0
12	(1)	20	平行四辺形が点対称な図形であることを理解している。	6年図形(1)イ	知			77	8	77	12	3	0		0
	(2)	21	ひし形が線対称な図形でも点対称な図形でもあることを理解している。	6年図形(1)イ	知			85	9	4	85	1	0		0
13	(1)	22	基準量と割合を基に比較量を求めることができる。	5年数量関係(3)ア	技	経年・活用		56	10	12	56	20	1		2
	(2)	23	比較量と割合を基に基準量を求めることができる。	5年数量関係(3)ア	技	活用		35	34	35	22	6	1		3
14		24	比の利用の問題を解くことができる。	6年数量関係(1)ア	技	経年		50	17	14	17	50	0		2
15	(1)	25	比例の関係のグラフから求めたい数量を読み取ることができる。	6年数量関係(2)ア	技			86					13	86	1
	(2)	26	比例の関係のグラフから求めたい数量を読み取ることができる。	6年数量関係(2)ア	技	経年		73					25	73	1
16	(1)	27	文字式で表された場面を読み取ることができる。	6年数量関係(3)ア	考			84	9	3	84	2	1		1
	(2)	28	比例の関係の表をもとにxが1増えたときのyの増加量を理解している。	6年数量関係(2)ア	知			86					13	86	2
17	(1)	29	データを柱状グラフに表すことができる。	6年数量関係(4)イ	技			88					9	88	3
	(2)	30	グラフから集団の特徴を読み取ることができる。	6年数量関係(4)イ	知	経年		79	8	4	79	5	1		3
	(3)	31	資料をもとに判断し、自分なりに説明することができる。	6年数量関係(4)イ	考			49					46	49	5
18	(1)	32	場면을樹形図に表すことができる。	6年数量関係(5)	技			85					11	85	4
	(2)	33	選び方を考えて場合の数を求めることができる。	6年数量関係(5)	技			83					10	83	7
全体正答率								72							

## 2 指導のポイント

### (1) 資料の傾向を根拠として、自分の考えを説明する活動を取り入れましょう。

#### ア 問題の概要

- 17 (3) 重い卵がよく産まれたといえるのは、東小屋と西小屋のどちらの小屋ですか。  
 選んだ小屋の名前と、選んだわけを、<資料3>の言葉と数を使って書きましょう。

<資料3> 東小屋、西小屋の卵の重さについてのいろいろな比べ方の結果

比べ方	東小屋	西小屋
いちばん重い重さ	67g	74g
いちばん軽い重さ	48g	45g
重さの平均	57.5g	58g
いちばん個数の多いはんい	55g以上60g未満	50g以上55g未満
55g未満の個数の割合 (%)	25%	約46%
55g以上65g未満の個数の割合 (%)	62.5%	約31%
65g以上の個数の割合 (%)	12.5%	約23%

【正答率 49%】

<正答> 選んだ小屋は、東(または西)小屋です。

<わけ> 【例】

無解答率 5%

(東小屋の場合) 一番個数の多いはんいで比べると、55g以上60g未満と、西小屋より重くなっているからです。

(西小屋の場合) 一番重い重さで比べると、74gと、東小屋より重くなっているからです。

#### イ 誤答分析

誤答が46%でした。誤答の中には、例えば、選んだ小屋の名前と資料が合っていない、根拠が明確になっていない、散らばりや合計の個数に着目してしまったなどがあります。

「重い卵がよく産まれた」ということについて、必要な情報を資料から適切に選択できなかったり、根拠を明確にできなかったりした生徒がいたと考えられます。

(参考)

年度・学年	問題番号	問題の概要	正答率 (%)
H28 全国 中3 数学B	5 (1)	24.5cmの靴を最も多く買うという考えが適切でない理由を、グラフの特徴を基に説明する。	—

#### ウ 指導上の留意点

この問題では、どちらの小屋を選択するのかより、それを選択した理由について資料の傾向を根拠として自分なりに説明できることの方がポイントです。

指導に当たっては、本問題のように、「どちらの小屋が重い卵をよく産んでいるといえるか。」という不確定な事象について、資料の傾向を読み取り、根拠を明らかにして説明する活動を取り入れることが考えられます。小学校では、代表値の一つとして主に平均値を扱いますが、小学校第6学年では、平均値だけでは資料の特徴を表せない場合もあることにふれています。つまり、平均値だけを根拠に判断すればよいわけではなく、どちらの小屋を選択しても、根拠によっては正確になり得ることを理解できるようにする必要があります。

このことを受けて、中学校第1学年では、代表値の意味を理解し、資料の傾向をとらえ説明する学習を扱います。日常生活から目的に応じて資料を収集し、実感的、体験的に理解させることが重要です。さらに、理由の妥当性について検討することも必要です。根拠を説明させた上で、その根拠が果たして正しいといえるのかを対話的、協働的に検討させましょう。

**(2) 問題場面を図や数直線に表し、基準量と比較量、割合の関係を見出しましょう。**

**ア 問題の概要**

13 ようこさんは、買い物をしました。

(2) 次に、20%増量して売られているジュースを買います。増量後のジュースの量は 360m L です。増量していないときのジュースの量は何m L ですか。答えは、次の①～④から 1 つ選んで、その番号を書きなさい。

- ① 288m L                      ② 300m L  
③ 340m L                      ④ 432m L

【正答率 35%】〈正答〉②                      無解答率 3%

**イ 誤答分析**

誤答を見ると①が 34%、③が 22%、④は 6% という反応率でした。①は 20%減量した問題としてとらえ、比較量である 360 を基準量としてそれに 0.8 をかけて求めたと考えられます。③は提示されている液量としての 360 という数から割合を百分率で表した 20 という数をひいて求めたと考えられます。④は 20%増量したことを踏まえ、比較量である 360 を基準量としてとらえ、360 に 1.2 をかけて求めたと考えられます。

誤答の傾向から、題意を基に基準量、比較量を見出すことができていないこと、「20%増量」の意味を割合として十分にとらえていないこと等が考えられます。

(参考)

年度・学年	問題番号	問題の概要	正答率 (%)
H27 全国 小 6 算数 B	2 (2)	20%増量した商品の内容量が 480m L であるとき、増量前の内容量を求める式と答えを書く。	9
H27 全国 小 6 算数 B	2 (3)	示された割引後の値段の求め方の中から、誤りを見出し正しい求め方と答えを書く。	50

**ウ 指導上の留意点**

この問題の答えを導くためには、基準量と比較量を見出し、数量の関係を割合でとらえられること、割合の意味と表し方を理解していること等が必要となります。具体的には、この問題から「基準量を求める問題である」ということを読み取ることは難しい場面なので、題意をまずテープ図等に表すなどして、「20%増量後の量が 360m L」であることを視覚的にとらえさせ、360m L (比較量) は増量前の量 (基準量) の 120% になっていることを日常生活ともかかわらせながら理解させることが大切です。その上で、数直線に表して解くことが有効です。【詳細は、平成 27 年度全国学調報告書 P73 を参照】

上記のように解くための土台として、2 学年のかけ算、3 学年のわり算において乗除の意味 (1 つ分、いくつ分、全部の数) を具体物や図、式との関連付けを十分に図りながらとらえさせていくことが大切です。その上で、3～5 学年の乗除単元の「倍の問題」において、数直線等を用いながら「もとにする数 (量)」とは「1 とみる数 (量)、1 つ分の数」であること、「倍」は「いくつ分」に当たること、「何倍にあたる数 (量)」は「全部の数」に当たることを統合的に理解させていく必要があります。このことにより、5 学年の割合の学習で既習との関連付けを図った拡張的な見方ができるようになると考えられます。

【20%増量した量から基準量を求める前の段階として、例えば、かけ算やわり算の単元で 1.2 に当たる量から、基にする量を求める活動を取り入れること等が考えられます。】

### Ⅲ 生徒質問紙調査の結果

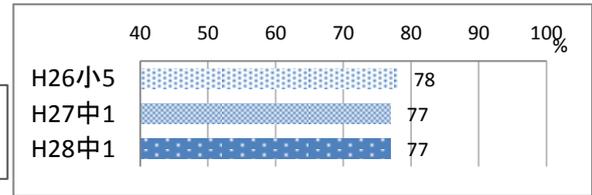
※ H28中学1年には、義務教育学校後期課程1年を含みます。

小学5年データ:10月県学調  
中学1年データ:4月新入生学調

質問事項1:学校の勉強が好きですか。

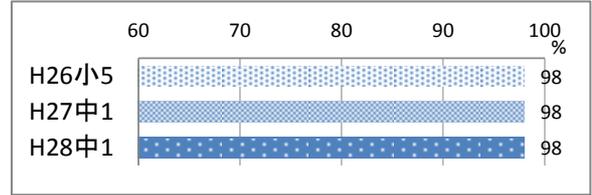
学年	年	好きだ	どちらかといえば好きだ	どちらかといえば好きではない	好きではない
小学5年	H26	30	48	18	5
		78	23		
中学1年	H27	27	50	19	4
		77	23		
	H28	29	48	18	5
		77	23		

H26の小学5年とH28の中学1年は同一集団です。



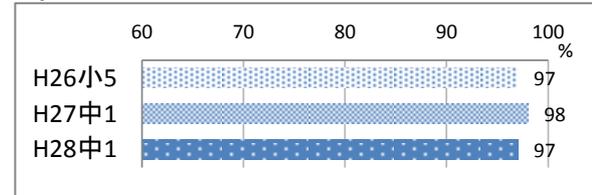
質問事項2:勉強は大切だと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	H26	79	19	1	1
		98	2		
中学1年	H27	82	16	1	1
		98	2		
	H28	83	15	1	0
		98	1		



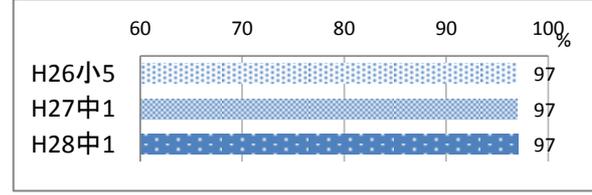
質問事項3:学校の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

学年	年	役立つと思う	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	役に立つと思わない
小学5年	H26	78	19	2	1
		97	3		
中学1年	H27	78	20	2	0
		98	2		
	H28	77	20	2	0
		97	2		



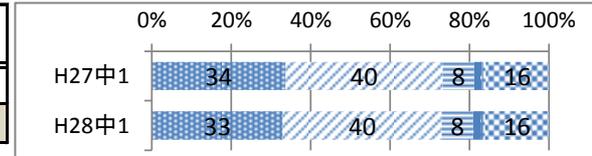
質問事項4:学校に行く前に朝食をとりますか。

学年	年	必ずとる	とることが多い	とらないことが多い	ほとんどとらない
小学5年	H26	88	9	2	1
		97	3		
中学1年	H27	88	9	2	1
		97	3		
	H28	87	10	2	1
		97	3		



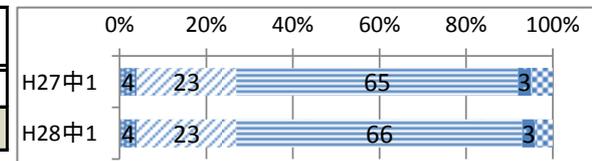
質問事項5:学校のある日の前日は、いつも、何時ごろに寝ますか。

学年	年	午後10時前に寝る	午後10時～午後11時前に寝る	午後11時～午前0時に寝る	午前0時～午前1時前に寝る	午前1時以降に寝る	日によって違う
中学1年	H27	34	40	8	2	1	16
	H28	33	40	8	2	1	16



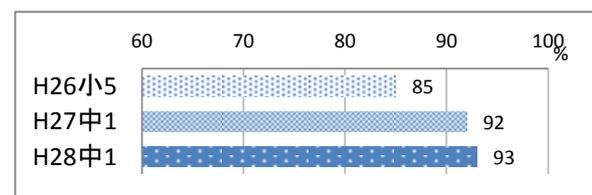
質問事項6:学校のある日は、いつも、何時ごろに起きますか。

学年	年	午前5時前に起きる	午前5時～午前6時前に起きる	午前6時～午前7時前に起きる	午前7時～午前8時前に起きる	午前8時以降に起きる	日によって違う
中学1年	H27	4	23	65	3	0	5
	H28	4	23	66	3	0	4



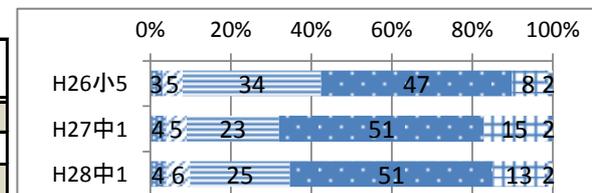
質問事項7:学校に持っていくものを、前日か、その日の朝に確かめますか。

学年	年	必ず確かめる	確かめることが多い	確かめないことが多い	ほとんど確かめない
小学5年	H26	54	31	11	4
		85	15		
中学1年	H27	65	27	6	2
		92	8		
	H28	66	27	5	2
		93	7		



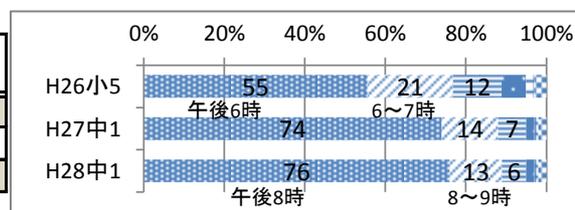
質問事項8:学校の授業以外で、1日にどのくらい勉強しますか。

学年	年	ほとんどしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上
小学5年	H26	3	5	34	47	8	2
	H27	4	5	23	51	15	2
中学1年	H28	4	6	25	51	13	2



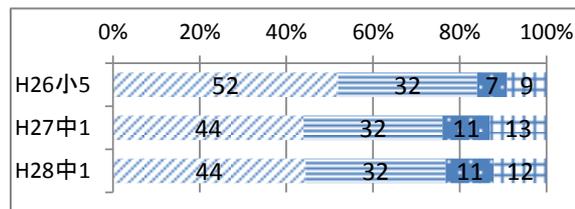
質問事項9: 家庭で勉強する場合は、何時頃からはじめることが多いですか。

学年	年	小: 午後6時前 中: 午後8時前	小: 6時~7時 中: 8時~9時	小: 7時~8時 中: 9時~10時	小: 8時~9時 中: 10時~11時	小: 9時以降 中: 11時以降	朝、起きてから 始める
小学5年	H26	55	21	12	6	2	3
中学1年	H27	74	14	7	2	1	2
	H28	76	13	6	2	1	2



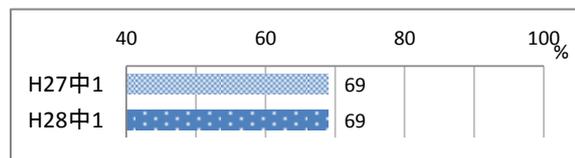
質問事項10: 家庭で勉強する内容は、次のどれに近いことが多いですか。

学年	年	宿題だけする	宿題のほかに 復習をする	宿題のほかに 予習をする	宿題のほかに 予習と復習をする
小学5年	H26	52	32	7	9
中学1年	H27	44	32	11	13
	H28	44	32	11	12



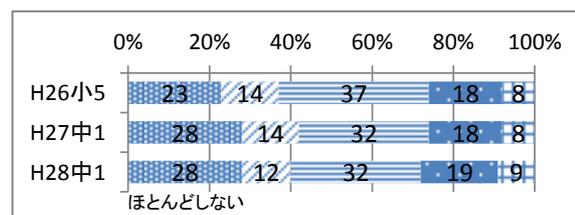
質問事項11: 家で、自分で計画を立てて勉強していますか。

学年	年	している	どちらかといえば している	どちらかといえば していない	していない
中学1年	H27	27	42	19	12
	H28	27	41	19	12
		69	31		
		68	31		



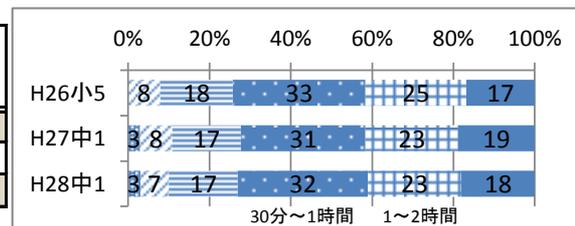
質問事項12: 学校の授業以外で1日にどのくらい読書を読みますか。

学年	年	ほとんどしない	10分より少ない	10分以上 30分より少ない	30分以上 1時間より少ない	1時間以上
小学5年	H26	23	14	37	18	8
中学1年	H27	28	14	32	18	8
	H28	28	12	32	19	9



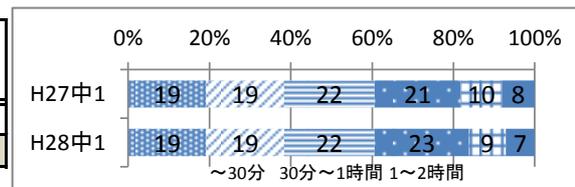
質問事項13: 1日にどのくらいテレビやビデオ、DVDを見ますか。

学年	年	全く見ない (~H26: ほとんど見ない)	30分より少ない (~H26: ほとんど見ない)	30分以上 1時間より少ない (~H26: 1時間より少ない)	1時間以上 2時間より少ない	2時間以上 3時間より少ない	3時間以上
小学5年	H26	8	18	33	25	17	
中学1年	H27	3	8	17	31	23	19
	H28	3	7	17	32	23	18



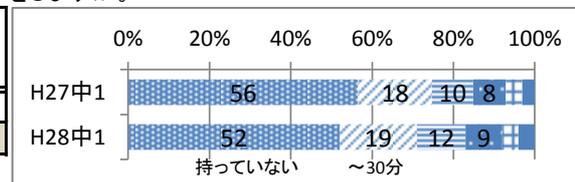
質問事項14: 1日にどのくらいテレビゲームをしますか。

学年	年	全くしない	30分より少ない	30分以上 1時間より少ない	1時間以上 2時間より少ない	2時間以上 3時間より少ない	3時間以上
中学1年	H27	19	19	22	21	10	8
	H28	19	19	22	23	9	7



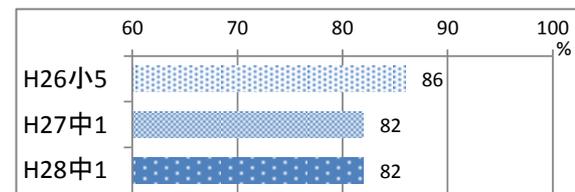
質問事項15: 1日にどのくらい携帯電話やスマートフォンで電話やメール、インターネットをしますか。

学年	年	携帯電話・ スマートフォンを 持っていない	30分より 少ない	30分以上 1時間より 少ない	1時間以上 2時間より 少ない	2時間以上 3時間より 少ない	3時間以上
中学1年	H27	56	18	10	8	4	3
	H28	52	19	12	9	4	4



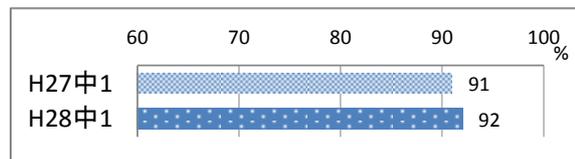
質問事項16: 運動やスポーツをすることは好きですか。

学年	年	好きだ	どちらかといえば 好きだ	どちらかといえば 好きではない	好きではない
小学5年	H26	64	22	9	4
	H27	57	25	13	6
中学1年	H27	82	19		
	H28	57	25	12	6
		82	18		



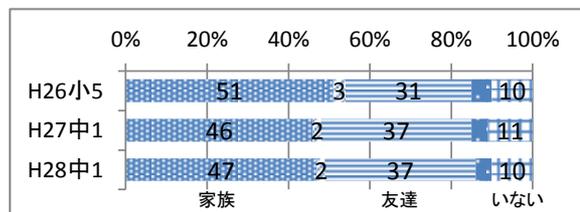
質問事項17: 学校に行くのは楽しいと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H27	58	33	6	2
	H28	59	33	5	3
		91	8		
		92	8		



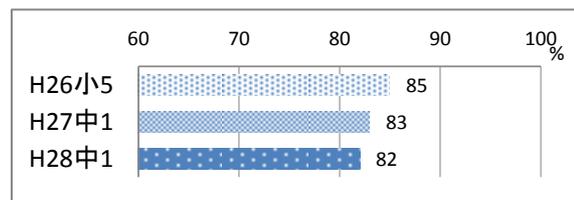
質問事項18:自分が悩んでいることがあった時、誰に相談することが多いですか。

学年	年	家族	学校の先生	友達	その他	相談する人は いない
小学5年	H26	51	3	31	5	10
中学1年	H27	46	2	37	4	11
	H28	47	2	37	4	10



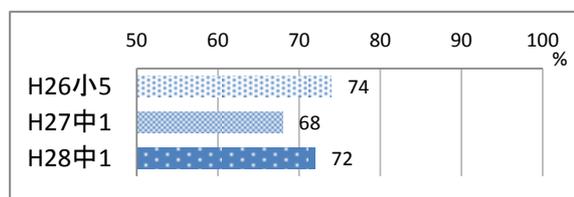
質問事項19:あなたは、将来の夢や就きたい仕事など具体的な目標を持っていますか。

学年	年	もっている	どちらかといえば もっている	どちらかといえば もっていない	もっていない
小学5年	H26	59	26	9	7
		85		16	
中学1年	H27	58	25	10	7
		83		17	
	H28	57	25	9	8
		82		17	



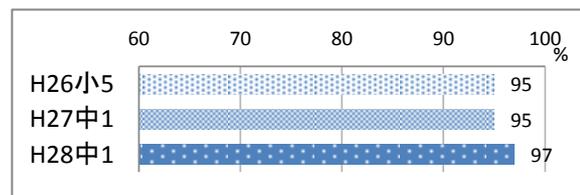
質問事項20:自分にはよいところがあると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
小学5年	H26	26	48	16	9
		74		25	
中学1年	H27	23	45	21	11
		68		32	
	H28	26	46	18	10
		72		28	



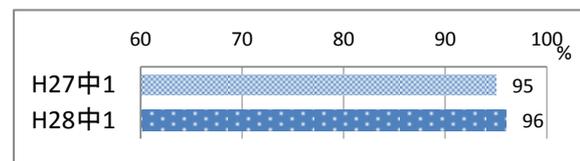
質問事項21:人が困っているときは、進んで助けようと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
小学5年	H26	56	39	4	1
		95		5	
中学1年	H27	54	41	4	1
		95		5	
	H28	61	36	3	1
		97		4	



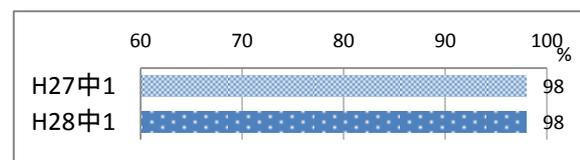
質問事項22:ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。

学年	年	ある	どちらかといえば ある	どちらかといえば ない	ない
中学1年	H27	76	19	3	2
		95		5	
	H28	78	18	3	2
		96		5	



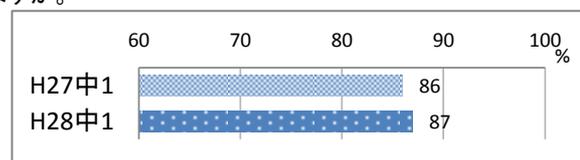
質問事項23:学校のきまりを守っていますか。

学年	年	守っている	どちらかといえば 守っている	どちらかといえば 守っていない	守っていない
中学1年	H27	68	30	2	0
		98		2	
	H28	72	26	1	0
		98		1	



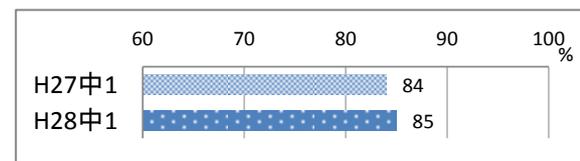
質問事項24:新聞を読んだり、テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか。

学年	年	そうしている	どちらかといえば そうしている	どちらかといえば そうしていない	そうしていない
中学1年	H27	46	40	10	4
		86		14	
	H28	49	38	9	4
		87		13	



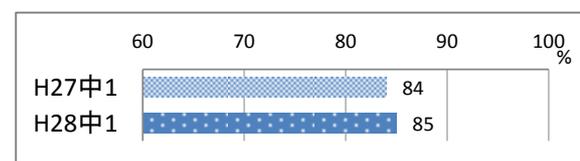
質問事項25:家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか。

学年	年	話をする	どちらかといえば 話をする	どちらかといえば 話をしない	話をしない
中学1年	H27	52	32	10	6
		84		16	
	H28	53	32	10	5
		85		15	



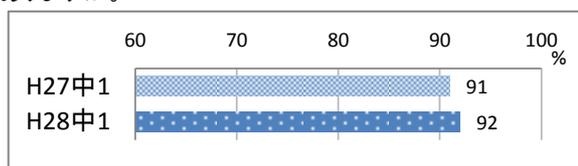
質問事項26:小学校のとき、学校に行くのは楽しかったと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H27	55	29	10	6
		84		16	
	H28	57	28	9	6
		85		15	



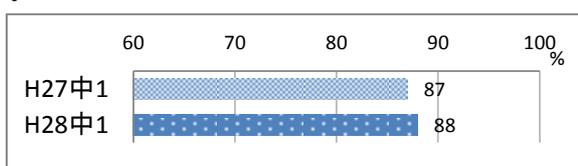
質問事項27: 小学校のとき、学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがありますか。

学年	年	ある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない
中学1年	H27	67	24	6	3
	H28	68	24	5	3
		<b>92</b>		<b>8</b>	



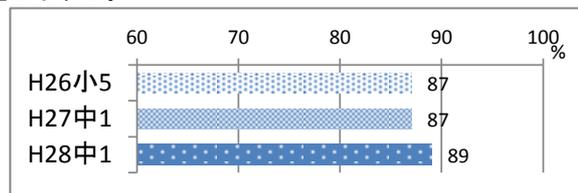
質問事項28: 小学校のとき、先生はあなたのよいところを認めてくれていたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
中学1年	H27	51	36	8	5
	H28	54	34	7	4
		<b>88</b>		<b>11</b>	



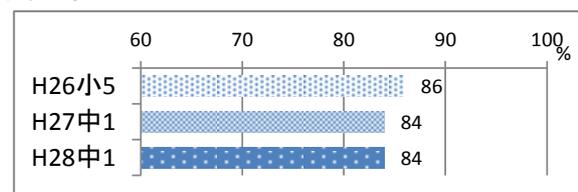
質問事項29: 小学校の授業で、はじめに授業の目標(めあて・ねらい)を確認していたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	H26	53	34	9	3
中学1年	H27	52	35	9	4
	H28	57	32	8	3
		<b>89</b>		<b>11</b>	



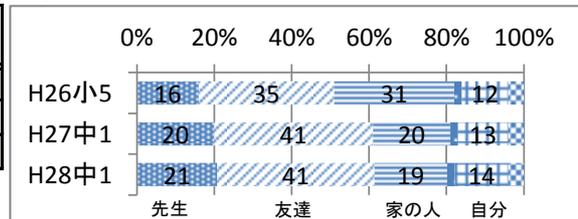
質問事項30: 小学校の授業で、最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
小学5年	H26	48	38	10	3
中学1年	H27	43	41	12	4
	H28	46	38	12	4
		<b>84</b>		<b>16</b>	



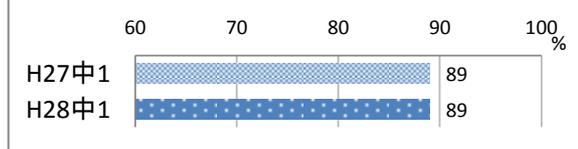
質問事項31: 小学校のとき、授業で分からないことがあると、どうすることが多かったですか。

学年	年	先生にたずねる	友達にたずねる	家の人にたずねる	塾や家庭教師の先生にたずねる	自分で調べる	そのままにする
小学5年	H26	16	35	31	2	12	4
中学1年	H27	20	41	20	2	13	4
	H28	21	41	19	2	14	4



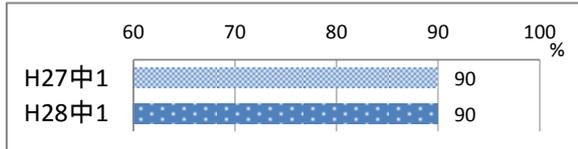
質問事項32: 小学校のときの「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいましたか。

学年	年	取り組んでいた	どちらかといえば取り組んでいた	どちらかといえば取り組んでいない	取り組んでいない
中学1年	H27	46	43	9	2
	H28	49	40	8	2
		<b>89</b>		<b>10</b>	



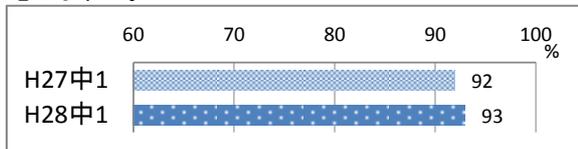
質問事項33: 小学校のときの授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
中学1年	H27	49	41	8	2
	H28	50	40	8	2
		<b>90</b>		<b>10</b>	



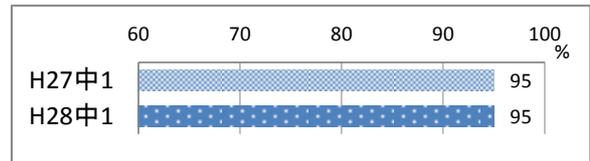
質問事項34: 小学校のときの授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
中学1年	H27	59	33	6	2
	H28	62	31	6	2
		<b>93</b>		<b>8</b>	



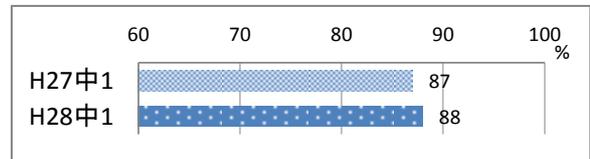
質問事項35: 小学校のときの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H27	66	29	4	1
		95		5	
H28		67	28	4	1
		95		5	



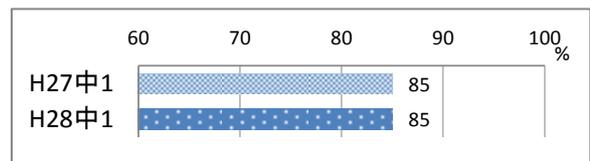
質問事項36: 小学校の国語の授業で、自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H27	38	49	10	3
		87		13	
H28		41	47	9	3
		88		12	



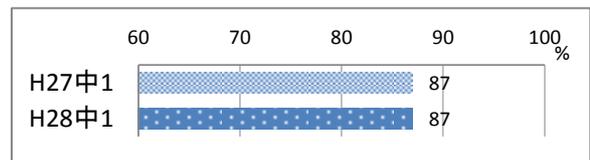
質問事項37: 小学校の国語の授業で、文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H27	37	48	12	3
		85		15	
H28		38	47	12	3
		85		15	



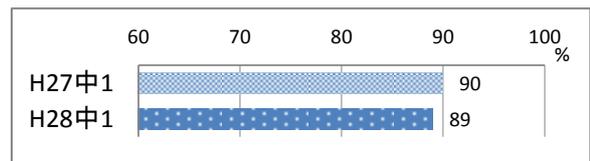
質問事項38: 小学校の算数の問題の解き方が分からないとき、あきらめずにいろいろな方法を考えていたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H27	47	40	10	3
		87		13	
H28		49	38	10	3
		87		13	



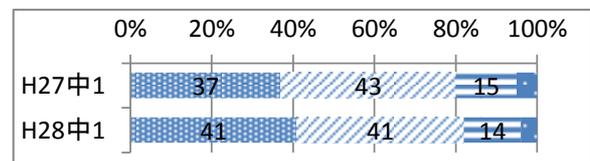
質問事項39: 小学校の算数の授業で、公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていたと思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H27	53	37	8	2
		90		10	
H28		53	36	8	2
		89		10	



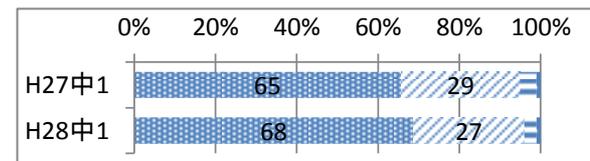
質問事項40: 中学校の国語の授業を楽しみにしていますか。

学年	年	楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみではない	楽しみではない
中学1年	H27	37	43	15	5
	H28	41	41	14	4



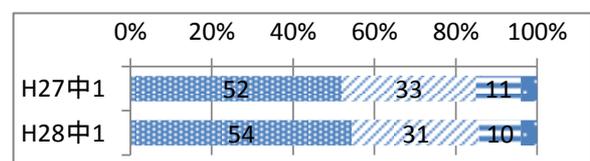
質問事項41: 小学校の国語で学習したことを、中学校の学習でもいかしていけると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H27	65	29	4	1
	H28	68	27	3	1



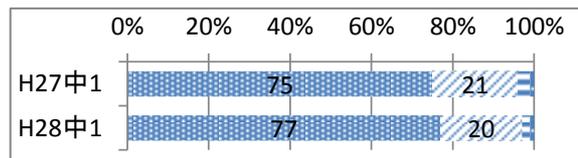
質問事項42: 中学校の数学の授業を楽しみにしていますか。

学年	年	楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみではない	楽しみではない
中学1年	H27	52	33	11	4
	H28	54	31	10	4



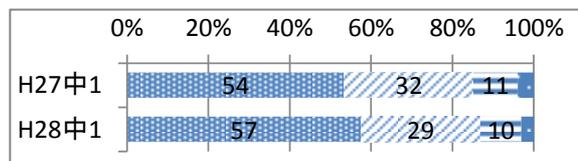
質問事項43: 小学校の算数で学習したことを、中学校の学習でもいかしていけると  
 思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H27	75	21	3	1
	H28	77	20	2	1



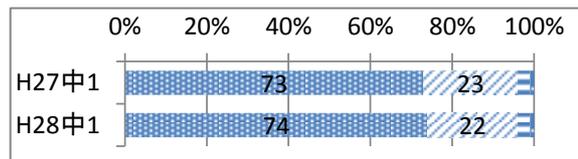
質問事項44: 中学校の社会の授業を楽しみにしていますか。

学年	年	楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみではない	楽しみではない
中学1年	H27	54	32	11	4
	H28	57	29	10	3



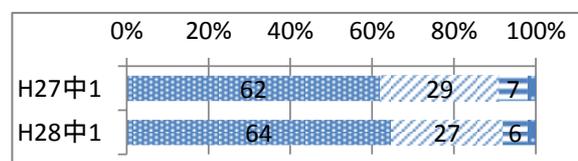
質問事項45: 小学校の社会で学習したことを、中学校の学習でもいかしていけると  
 思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H27	73	23	3	1
	H28	74	22	3	1



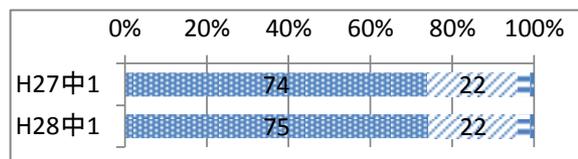
質問事項46: 中学校の理科の授業を楽しみにしていますか。

学年	年	楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみではない	楽しみではない
中学1年	H27	62	29	7	2
	H28	64	27	6	2



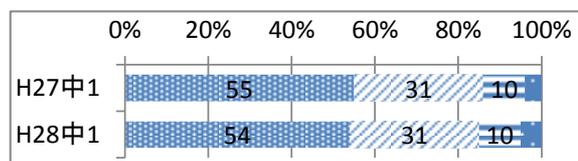
質問事項47: 小学校の理科で学習したことを、中学校の学習でもいかしていけると  
 思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H27	74	22	3	1
	H28	75	22	3	1



質問事項48: 中学校の英語の授業を楽しみにしていますか。

学年	年	楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみにしている	どちらかといえば 楽しみではない	楽しみではない
中学1年	H27	55	31	10	4
	H28	54	31	10	5



質問事項49: 小学校の外国語活動で学習したことを、中学校の学習でも  
 いかしていけると思いますか。

学年	年	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
中学1年	H27	68	25	5	2
	H28	69	24	5	2

